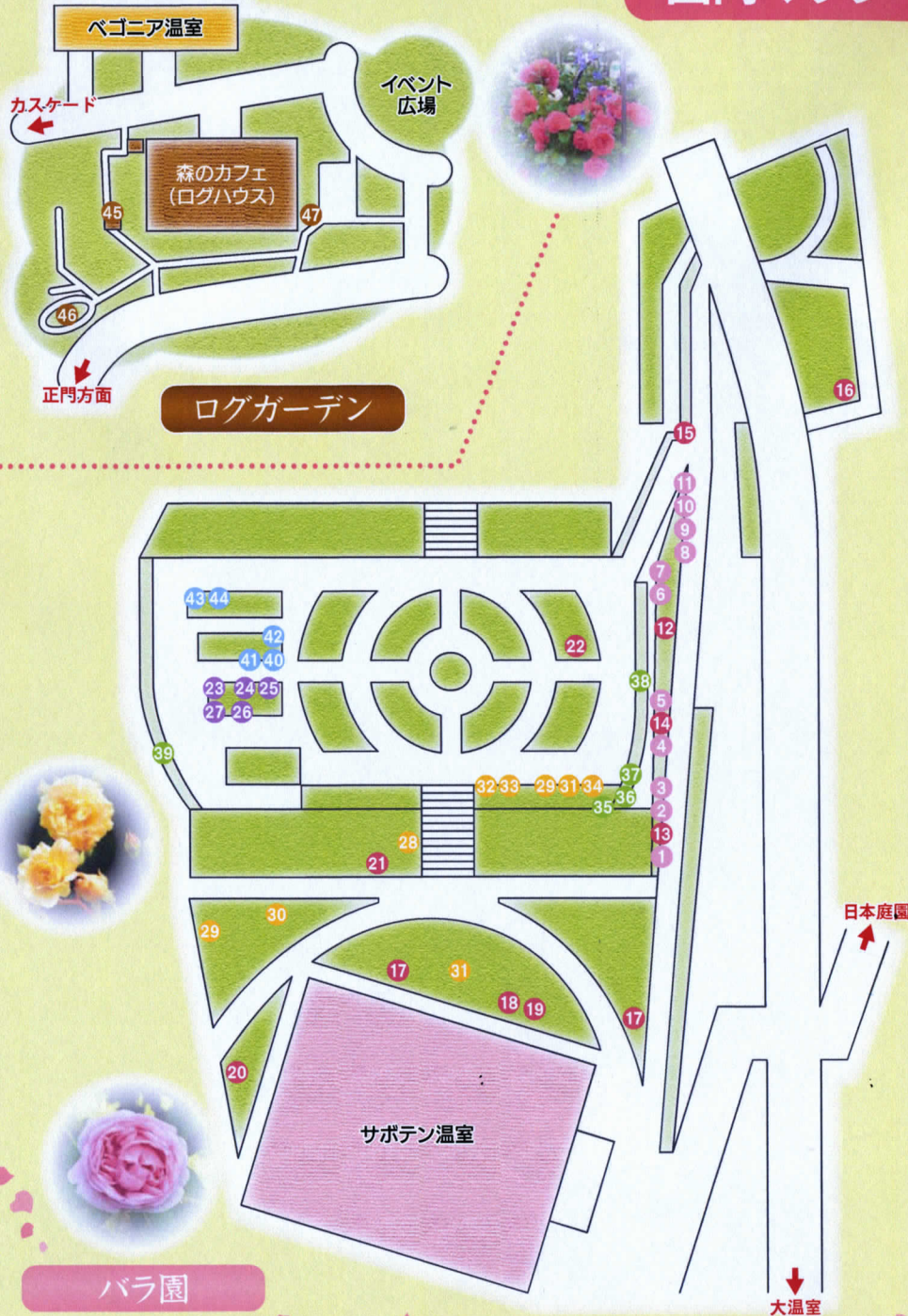


園内マップ



ローズフェスティバル 2015

5/16(土)~5/31(日) ガイドマップ 広島市植物公園



バラの歴史をたどる

文頭の西暦年は、登録された年を示しています。

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>1 アポセカリーローズ C</p> <p>ガリカ・ローズの中でも最も古く、紀元前から栽培されていたものと考えられている。名前は直訳すると「薬屋のバラ」。</p> | <p>2 オートム・ダマスク D</p> <p>起源は不明。秋にも返り咲く性質があり、この名がある。強いダマスク香がある。</p> | <p>3 アルパ・マキシマ A</p> <p>1400年代以前から存在していたと考えられる種類で、青白い葉や白い花色が特徴的。独特な清涼感のある香り。</p> | <p>4 ケンティフォリア・ウァリエガタ C</p> <p>1500年代に成立したと考えられているケンティフォリア系。本種はケンティフォリアの花がピンクと白の絞り模様になったもの。</p> |
| <p>5 ケンティフォリア・ムスコサ M</p> <p>1800年代末にケンティフォリアの枝変わりから生じたと考えられている。最初のモスローズ。萼(がく)に舌状の突起がある。</p> | <p>6 ヒュームズ・ブラッシュ・ティー・センティッド・チャイナ T</p> <p>1809年にイングランドのヒュームズ卿が紹介。ロシア・ギガテア由来のティーの香りをもつ(本園の株は四季咲き性がほとんどない)。</p> | <p>7 クイーン・オブ・ブルボンズ (ブルボン・クイーン) B</p> <p>1834年、ブルボンローズは、当時フランス領だったブルボン島(現在のレユニオン島)で見つかった、返り咲き性の交雑バラに由来する(本種は一季咲き)。</p> | <p>8 ポール・ネイロシ (青台の夢) HP</p> <p>1869年、ハイブリッド・パーペチュアルはオールローズの中で新しい系統で、本種は10cm以上の大輪花で返り咲き性があり、フルーツ香がある。</p> |
| <p>9 ラ・フランス HP</p> <p>1867年、フランスのギヨーが、ハイブリッド・パーペチュアルに四季咲き・高心剣弁・芳香性のティーを交配して生み出した。モダンローズ第一品種。</p> | <p>10 ソレイユ・ドール HFe</p> <p>1900年、ベルネ・デュシェ作。ベルジャン・イローの血を引く品種。後にハイブリッド・ティーと交配されて、現代バラにそれまでなかった鮮黄色の品種が誕生した。</p> | <p>11 グレー・パール HT</p> <p>1945年。青バラの祖として有名。より青い色のバラを目指して育種家の挑戦が続く。</p> | |

バラ園 (メイン会場)

バラ園では、モダンローズ・オールドローズや世界の野生種など約700種類のバラが咲き誇ります。また、バラ園から見る瀬戸内海や島々の景色はとてきれいで見ごたえがあります。

往年の名花を観賞する (オールドローズとモダンローズ)

12  **フェンツァンルー (粉粧樓)** Ch
作出年不明。ボールのような花形。ピンクの濃淡は季節により変わる。強いダマスク香。

13  **ロサ・ムンディ** G
作出年不明。花に絞り模様が入り、美しい。それ以外の性質は「アボセカリーローズ」と同じ。

14  **ケンティフォリア・プラータ** C
作出年不明。しわのある葉と大輪の花が特徴。「バラの画家」ルドゥーテの描いた作品の中でも特に人気があるもののひとつ。

15  **バロン・ジロ・ドゥ・ラン** HP
1897年。濃赤の花弁の縁に白い色が乗る覆輪。強いダマスク香がある。返り咲き。

16  **カーディナル・ドゥ・リシュリュ** G
1840年。紫系の花色としては最古の品種だと考えられている。

17  **プレジデント・マーシャ** HT
1933年。現在ほとんど見ることができない、忘れられたアーリー・モダンローズ。

18  **ミセス・P.S. デュボン** HT
1929年。ソレイユ・ドールの登場から 29年の月日を経て、ついに鮮やかな黄花の四季咲きバラが完成した。

19  **コルデス・パーフェクタ** HT
1957年。ドイツの名育種家コルデスが「完璧」と名づけた自信作。

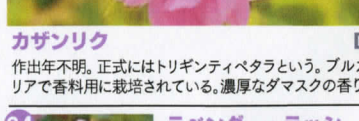
20  **グルス・アン・テブリツ** Ch
1897年。明治時代から日本でも愛されてきたバラ。別名「日光」。宮沢賢治が栽培していたことでも知られる。

21  **タチアーナ** HT
1970年。ひときわ目立つ黒みを帯びた赤い花。芳醇な香り。返り咲き。

22  **ババ・メイアン** HT
1963年。世界バラ会連合が1988年に「殿堂入り」に選出した名花。強いダマスク香。

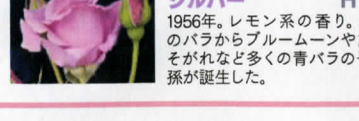
バラの香りを楽しむ

23  **カザンリク** D
作出年不明。正式にはトリギンティベタラという。ブルガリアで香料用に栽培されている。濃厚なダマスクの香り。

24  **ラベンダー・ラッシー** HMsk
1960年。ムスク系の甘い香りがする花が戻り咲きになるつバラ。返り咲き性もある。

25  **レディ・ヒリンドン** T
1910年。優しい杏色の花弁で、ティーの香り。四季咲きのオールドローズ。和名は金華山。

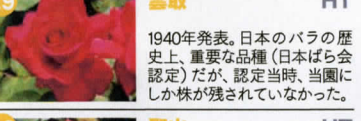
26  **デインティー・ベス** HT
1925年。スパイシーな香り。一重咲きのバラ品種の中で最もよく知られているものの一つ。

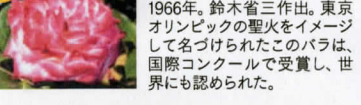
27  **スターリング・シルバー** HT
1956年。レモン系の香り。このバラからブルームーンやたそがれなど多くの青バラの子孫が誕生した。

日本で生まれた名花

28  **長良** HT
1940年発表。日本のバラの歴史上、重要な品種 (日本ばら会認定) だが、認定当時、当園にしか株が残されていなかった。

新雷 CI
1972年。ミスター・ローズと鈴木省三作出。純白の高芯剣弁咲きの花をアーチいっぱい咲かせる。つるバラとしてはめずらしい四季咲き。

29  **雲取** HT
1940年発表。日本のバラの歴史上、重要な品種 (日本ばら会認定) だが、認定当時、当園にしか株が残されていなかった。

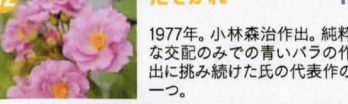
30  **聖火** HT
1966年。鈴木省三作出。東京オリンピックの聖火をイメージして名づけられたこのバラは、国際コンクールで受賞し、世界にも認められた。

バラのある風景を愉しむ (つるバラ)

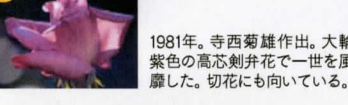
35  **アンジェラ** F
1984年。非常に花付きが良い人気のつるバラ。つるは伸ばしても短く切っても咲く。四季咲き。

36  **ウエスターランド** S
1969年。ドイツ生まれの寒さに強い四季咲きのつるバラ。鮮やかなオレンジピンクが目立つ。

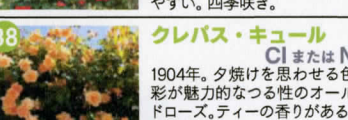
31  **長良** HT
1940年発表。日本のバラの歴史上、重要な品種 (日本ばら会認定) だが、認定当時、当園にしか株が残されていなかった。

32  **たそがれ** F
1977年。小林森治作出。純粋な交配のみでの青いバラの作出に挑み続けた氏の代表作の一つ。

33  **芳純** HT
1981年。鈴木省三作出。香りのバランスがよく、化粧品会社からこのバラの香りを使った香水が発売されるほど。

34  **マダム・ヴィオレ** HT
1981年。寺西菊雄作出。大輪紫色の高芯剣弁花で一世を風靡した。切花にも向いている。

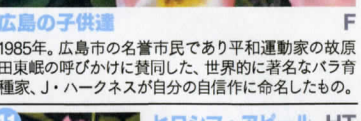
35  **アルティッシモ** CI
1966年。一重だが真っ赤な色が人目を引く。強健で栽培しやすい。四季咲き。

37  **クレパス・キュール** CI または N
1904年。夕焼けを思わせる色彩が魅力的なつる性のオールドローズ。ティーの香りがある。返り咲き。

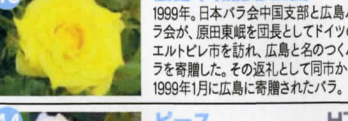
38  **パフ・ビューティー** HMsk
1939年。杏色で甘い香りの房咲き花。伸長力があり、大きなパーゴラやトンネルにしたつるバラ。

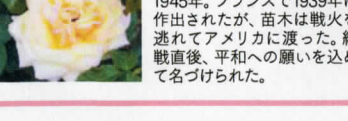
ヒロシマとバラに平和へのおもいを込めて

40  **広島の子供達** F
1985年。広島市の名誉市民であり平和運動家の故原田東峯の呼びかけに賛同した、世界的に著名なバラ育種家、J・ハーネスが自分の自信作に命名したもの。

41  **ヒロシマ・アビール** HT
1985年。広島の日頭数蔵作出。1981年にローマ法王ヨハネ・パウロ二世が広島で発表した平和アビールをイメージした。

42  **レッド・ラジアン** HT
1916年。長崎で自らも被爆し、原爆被爆者の救護に当たった故永井隆博士の邸宅にあったバラを、広島に植樹したもの。

43  **広島平和記念公園** F
1999年。日本バラ会中国支部と広島バラ会が、原田東峯を団長としてドイツのエルトレ市を訪れ、広島と名のつバラを寄贈した。その返礼として同市から1999年1月に広島に寄贈されたバラ。

44  **ピース** HT
1945年。フランスで1939年に作出されたが、苗木は戦火を逃れてアメリカに渡った。終戦直後、平和への願いを込めて名づけられた。

主なモダンローズの系統

- ◆ **ハイブリッド・ティー (HT)**
ハイブリッド・パーベチュアル (HP) にティー (T) が交配されて成立した。完全四季咲きで大輪花。モダンローズの代表的な系統。
- ◆ **フロリバンダ (F)**
完全四季咲きで厚咲き中輪花。多花性で現代のバラ園には欠かせない系統。
- ◆ **クライミング (C)**
中輪~大輪のつるバラの総称。さまざまな系統から由来していて、一季咲き~四季咲きの品種がある。
- ◆ **ハイブリッド・コルデシー (HKor)**
ドイツのコルデスが改良した品種群で、ハマナシとテリノイバラの交配種ロサ・コルデシーから改良された系統。四季咲きで耐寒性・耐病性の強い半つるバラが多い。
- ◆ **シュラブ (S)**
ほかのどの系統にも属さないもの。半つる性の品種が多い。一季咲き~四季咲きまで、開花習性はさまざま。
- ◆ **ボリアンサ (P)**
19世紀に、チャイナ (おそろきケンシス・ミニマ) とノイバラが交配されて成立したと考えられている。四季咲き、小輪厚咲き多花性。
- ◆ **ハイブリッド・ムスク (HMsk)**
ロサ・モスカータに他の系統が交配されて成立した系統。小~中輪で厚咲き性、ムスクの香りがある。半つる~つる性で、返り咲き性のある品種が多い。

主なオールドローズの系統

- ◆ **ガリカ (G)**
中近東からヨーロッパにかけて古くからあった系統で、薬用・香料用。コンパクトな樹勢。
- ◆ **ダマスク (D)**
中東からヨーロッパにもたらされたバラ。ブルガリアで香料用に生産されている。
- ◆ **アルバ (A)**
ヨーロッパの寒地に適応した系統。白~淡ピンク系の花色が多く、灰白色の葉。
- ◆ **ケンティフォリア (C)**
ヨーロッパで16~18世紀にかけて生み出された交配バラ。キャベツの葉のように花弁が多く、丸弁のカップ咲き。
- ◆ **モス (M)**
18世紀中ごろにケンティフォリア (C) から派生した系統で、かくや花冠に縞模様があり、コケが密生しているように見える。
- ◆ **チャイナ (Ch)**
中国原産のロサ・ケンシス (庚申バラ) とロサ・ギンテアに起源を持つ。四季咲き性・剣弁。
- ◆ **ティー (T)**
中国原産のロサ・ギンテアに由来するティーの香りを持つ系統。
- ◆ **ブルボン (B)**
19世紀初頭にインド洋ブルボン島 (レユニオン島) にあった西洋・東洋系混血バラに由来する系統。返り咲きしやすい。
- ◆ **ポートランド (P)**
18世紀終わりにはフランスで知られていた起源がある系統。雑種バラとして初めての返り咲き品種が含まれる。コンパクトな樹勢と豊かなダマスク香が特徴。
- ◆ **ノアゼット (N)**
19世紀初頭にアメリカで育成された西洋・東洋系混血バラ。返り咲き性で、半つる性の品種が多い。
- ◆ **ハイブリッド・パーベチュアル (HP)**
様々な西洋・東洋系混血バラが複雑に交配された系統。大輪・返り咲きで、19世紀後半、ハイブリッド・ティー (HT) が出現する前の代表的系統。
- ◆ **ハイブリッド・フェティダ (HFf)**
西アジアに自生する黄色い花色を持つロサ・フェティダに他の系統が交配されて成立した系統。黄色い花色の現代バラの祖先となった。
- ◆ **ハイブリッド・マルチフローラ (HMult)**
日本に自生しているノイバラに他の系統が交配されて成立した系統。一季咲きだが非常に多花性で、壁面を覆う伸張力のある品種が多い。

その他の系統

- ◆ **原種 (Sp)** 世界各地にある野生のバラ。植物公園には約100種あります。

ログガーデンのバラ

つるバラを中心に、季節の花木や草花がお楽しみいただけます。

45  **レーヴ・ドール** N
1869年。ティーローズを思わせる剣弁で、アンティークな色とティーの香り。壁面を覆う伸張力がある。

46  **ロザリウム・ウッテンセン** HKor
1977年。ウッテンセンとはドイツにあるバラの町。ロゼット咲きの濃いピンクの花で、香りもよい半つるバラ。秋にもよく咲く。

47  **ブルー・マジェンタ** HMult
作出年不明。濃い紫色のポンポン咲き。香りもある。壁面を覆う魅力的なランブラー。